

京都 東山三十六峰越 walk <<1>>

【1】 京都市街と山科を結ぶ東山滑石越「滑石街道」を歩く 2016.9.13.

府道118号線 今熊野勤修寺線 大石内蔵助が山科から祇園・伏見へ通ったという古道
東山三十六峰を越 滑石街道 京都の新しい散策道をつつまた 見つけました



京都鴨川 鴨川塩小路橋から眺める東山 南部



JR東海道線 東山トンネル出口 今熊野橋より



府道118号 今熊野勤修寺線。 東山通の今熊野交差点から東へ
両側にびっしり、家並みが続く狭い坂道が東山へと登ってゆく。
かつては 大石内蔵助が計を図りながら、山科から祇園・伏見へ
足しげく通った道だという。

滑石街道・醍醐街道などと名称はついているが、幹線道路の役割を三条通
日岡越や五条通東山越に渡し、今は街道筋に暮らす人たちの生活道路。
車に邪魔されることもなく 往時を思い起こしながら ゆっくりと
家並みを楽しみながら東山越

30分もあれば峠越 1 時間もかからず、山科の街へ
山科がこんなに近いとは !! びっくりした古道です



最近 山科西野山界隈を歩いていて知った JR 東山トンネル
の上を越えて京都と山科を結ぶ「東山滑石越」滑石街道(府
道118号今熊野勤修寺線)。 かつては京都と山科を結ぶ
間道として、京都ではよく知られた道という。
東山を越えて山科に入る西野山地区は古い時代 中臣氏(藤
原氏)の本拠地であり、坂之上田村麿の墓もある。
また、忠臣蔵大石内蔵助が居住し、忠臣蔵の計画をめぐら
したところでもある。さらに、この東山滑石越の道は稲荷
山そして醍醐への道。
古い歴史をたどる道で「滑石街道」の名前にはさぞ由緒が
あるのだろうとイメージを膨らませましたが・・・・。





滑石越 山科側西野山から山科市街地



滑石越 東山の峠(京都今熊野/山科西野山)



滑石越 京都側今熊野から京都市街地



東山 滑石越 ルート図



JR京都駅東 塩小路橋から眺める東山



山科 新十条通から眺める東山

「滑石街道」の名は「忠臣蔵の秘策を練る大石内蔵助が、放蕩を装って、毎夜毎夜 東山の山道を越えて 祇園・伏見へ通った際に、凍り付いた古道で足を滑らせて転んだことであろう」と誰いうとなく「大石も滑る→すべり石」街道と呼ばれるようになったという。

何かすごい歴史がこの道に隠されていると思いましたが、意外にも庶民の感覚のネーミング。

でも、地図で眺めてみると曲がりくねった狭い道の両側にびっしり今熊野の家並みが峠まで続く生活道路。

古い時代から住み継がれてきた生活道路に違いない。

三条通日岡峠越・五条通東山越の道が、幅の広い幹線道路に対してびっくりの東山越。昔も今もずっと 車に邪魔されずに歩ける庶民の道「滑石街道」なんだと。

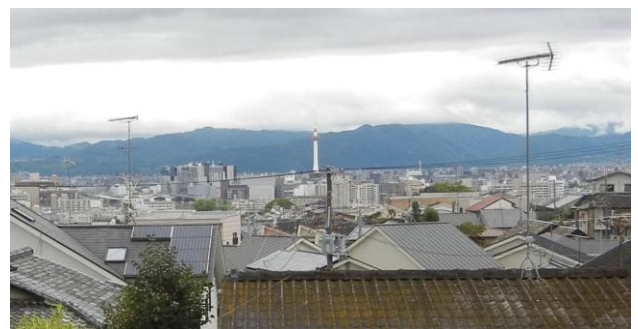
観光客の雑踏もなし 車にも邪魔されず、山から眺める景色も独り占め。京都にうれしい古道の散歩道 発見。

今にも雨が降り出しそうな9月13日朝 今熊野/滑石越/山科西野山の滑石街道 walk へ

帰りは 午後 山科側から 稲荷神降臨伝承 伏見稲荷大社の御神体山「稲荷山」に登って京都へ。

曲がりくねった狭い道の両側にびっしり今熊野の家並みが峠まで続く、古い時代から住み継がれてきた生活道路。

それも 東山通今熊野から東山を登るというより、ぶらぶら坂歩きで約30分で峠に



今熊野の一番上 滑石街道 日吉南町周辺から眺めた京都の街 2016.9.13.



滑石街道 東山越の峠への峠道 2016.9.13. 10:00

今熊野から峠にかかる一番高いところからは、そして 雲に煙る西山をバックにした京都の街が遠望。京都タワーも見える。

随分下に京都の街がみえ、知らぬ間に東山の上に。

街道筋の家並みが途切れて、緑に包まれた東山の山中 視界が開けないが 平坦になって峠も近い。この下を東海道線・新幹線のトンネルが潜り抜けている。時折、通り過ぎてゆく自動車以外誰もいない静かなもの。

山科側は一体どないになっているのか、興味津々。

30分足らず 平坦な道を曲がると急な下り坂。 ここが峠でした。
 急な坂道を下ってゆくと、文字通りのヘアーピンを描くカーブに。
 この横の竹藪の中が坂之上田村麿の墓といわれる西野山古墓。
 この坂道で山科の盆地の大パノラマ。 急に開けた街並みにびっくり。
 また、約1時間弱で山科 西野山地区の街へ。
 京都と山科がこんなに近いとは・・・。
 びっくりですが、逆に気分的な東山の壁の大きさにも気が付きました。



西野山から眺める南北に広がる山科盆地全景

西野山桜の馬場町周辺分岐より 2016.9.13.



滑石街道 山科側の下り路 きれいなヘアピンカーブ 2016.9.13.

すぐ横に西野山古墓 眼下には山科盆地のパノラマが広がっていました



知っているようで 知らなかった楽しい京都
 東山三十六峰 滑石越 walk でした。
 観光客の雑踏もなし 車にも邪魔されず、
 山から眺める景色も独り占め。
 昔も今もずっと 車に邪魔されずに歩ける庶民の道「滑石街道」。
 京都にうれしい古道の散歩道 発見でした。

2016.9.13. たどってきた滑石街道の道を眺めながら
 山科 滑石・新大石道で Mutsu Nakanishi

【2】 京都 東山三十六峰越 walk <2>

東山三十六峰南端の稲荷山 横断ハイク 稲荷山降臨伝承の三ヶ峰から伏見稲荷大社へ

帰りは山科西野山から稲荷山へ登って伏見稲荷大社へ 久しぶりの稲荷山はワンダーランド

<http://www.infokkna.com/ironroad/2016htm/iron12/1610inariyama00.htm>

参考 和鉄の道・Iron Road By Mutsu Nakanishi

1. 京都 東山三十六峰越 Walk 2016.9.13.

[1] 京都市街と山科を結ぶ東山滑石越「滑石街道」を歩く 2016.9.13.

京都にうれしい古道散歩道の発見 府道118号線 今熊野勤修寺線 大石内蔵助が山科から祇園・伏見へ通ったという古道

<http://www.infokkna.com/ironroad/2016htm/iron12/1610suberishi00.htm>

[2] 東山三十六峰南端の稲荷山 横断ハイク 稲荷山降臨伝承の三ヶ峰から伏見稲荷大社へ 2016.9.13.

帰りは山科西野山から稲荷山へ登って伏見稲荷大社へ 久しぶりの稲荷山はワンダーランドでした

<http://www.infokkna.com/ironroad/2016htm/iron12/1610inariyama00.htm>

2. 京都山科 西野山walk 2016.6.3.

<http://www.infokkna.com/ironroad/2016htm/iron12/1607nishinoyama00.htm>

1. 今の時代に通じる 征夷大將軍「坂上田村麻呂」&蝦夷のリーダー「アテルイ」の評価討論 !! NHK BS 英雄たちの選択 「衝突! その時 男は何を見た 征夷大將軍・坂上田村麻呂」より

2. 京都山科 西野山walk 主要訪問先案内 山科 西野山Walk 西野山周辺の古代伝承

3. 京都山科 西野山walk

3.1. 坂上田村麻呂墓を訪ねる

3.2. 稲荷伝承の折上稲荷

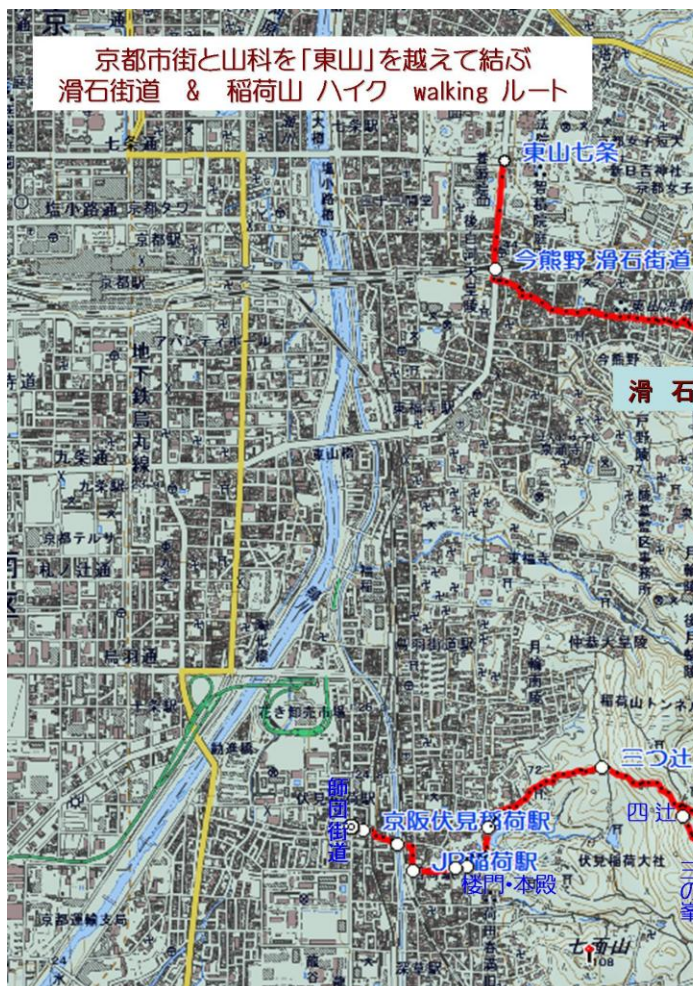
3.3. 西野山山麓の鍛冶伝承地 花山稲荷神社

3.3. 勤修寺 回遊式庭園の花菖蒲と睡蓮見学

4. 坂上田村麻呂創建の京都東山 清水寺に アテルイ・モレの碑を訪ねる

3. 京都山科に古代のたたら跡 如意ヶ岳南製鉄遺跡群を訪ねる 2013.8.26

<http://www.infokkna.com/ironroad/2013htm/iron09/1309yamashina00.htm>



京都 東山三十六峰越 Walk 2016.9.13.

1. 大石内蔵助が京都に通った古道 滑石街道(醍醐街道)
2. 稲荷神降臨伝承の稲荷山三つ峰 伏見稲荷大社の参詣道をたどる



鴨川 京都駅東 塩小路橋から遠望する東山三十六峰の南端部 西野山・稲荷山 2016.9.13.

【1】京都市街と山科を結ぶ東山滑石越 滑石街道を歩く 2016.9.13.

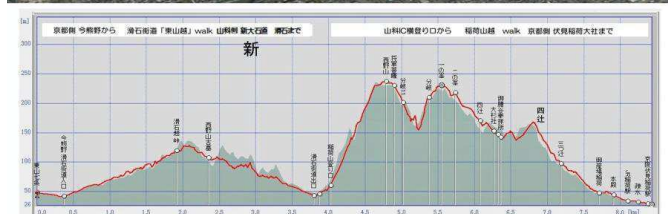
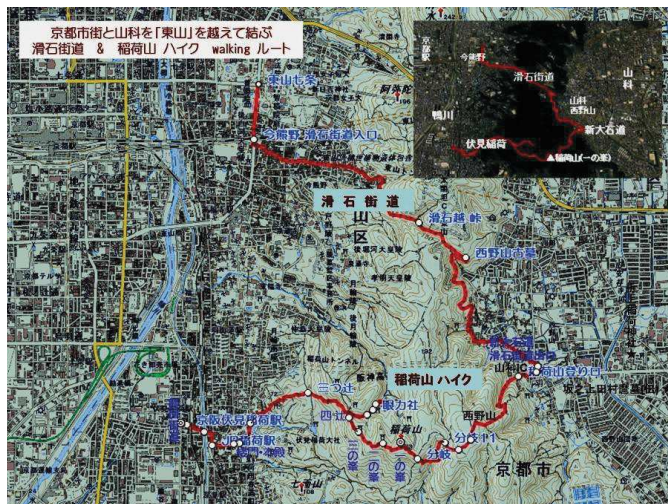


最近 山科西野山界隈を歩いていて知ったJR東山トンネルの上を越えて京都と山科を結ぶ東山滑石越の滑石街道(府道118号今野野路寺線)。かつては京都と山科を結ぶ街道として、京都ではよく知られた道で、東山を越えて山科に入る西野山地区は古い時代 中臣氏(藤原氏)の本拠地であり、坂之上田村の重なる。また、忠臣蔵大石内蔵助が居住し、忠臣蔵の計画をめぐらしたところでもある。また、この東山越は稲荷山として醍醐への道でもある。 古い歴史をたどる道で、「滑石街道」の名前にはさぞ由縁があるのだろうと。「滑石街道」の名は「忠臣蔵の秘宝を秘める大石内蔵助が、放浪を繰り返して、毎夜毎夜 東山の山道を越えて 醍醐・伏見へ通った際に、凍り付いた道で足を滑らせて転んだことであろう」と推測する。大石も滑る一歩(石)街道と呼ばれるようになったという。何かすごい歴史がこの道に隠されているかと思いましたが、意外にも庶民の感覚のネーミングでした。

また、曲がりくねった狭い道の両側にびっしり今野野の家並みが峠まで続く生活道路。古い時代から住み継がれてきた生活道路。三条通日圓神地 五条通東山越の道が、幅の広い車道がある幹線道路に対して、びっけりの東山越。それも 東山通今野野から東山を登るといふより、ふらふら坂歩きで約30分で峠に。また、約30分で山科の街へ。約1時間 急げばもっと短い時間で 京都と山科の間の「東山」を越えられるなど本当によい。

昔も今もずっと 車に邪魔されずに歩ける庶民の道「滑石街道」なんだと。観光客の雑踏もなし。車にも邪魔されず、山から眺める景色も格別。 東都にうれい古道の散歩道 発見でした。観光客の雑踏もなし。車にも邪魔されず、山から眺める景色も格別。 東都にうれい古道の散歩道 発見でした。観光客の雑踏もなし。車にも邪魔されず、山から眺める景色も格別。 東都にうれい古道の散歩道 発見でした。

2016.9.13. 山科 滑石・東山越 だどき滑石街道の道を眺めるなら Mutsu Nakanishi



最近 山科西野山界隈を歩いていて知ったJR東山トンネルの上を越えて京都と山科を結ぶ東山滑石越の滑石街道(府道118号今野野路寺線)。かつては京都と山科を結ぶ街道として、京都ではよく知られた道といふ。

東山を越えて山科に入る西野山地区は古い時代 中臣氏(藤原氏)の本拠地であり、坂之上田村の重なる。また、忠臣蔵大石内蔵助が居住し、忠臣蔵の計画をめぐらしたところでもある。 また、この東山越は稲荷山として醍醐への道でもある。 古い歴史をたどる道で、「滑石街道」の名前にはさぞ由縁があるのだろうとイメージを膨らませるのスタート。

「滑石街道」の名は「忠臣蔵の秘宝を秘める大石内蔵助が、放浪を繰り返して、毎夜毎夜 東山の山道を越えて 醍醐・伏見へ通った際に、凍り付いた道で足を滑らせて転んだことであろう」と推測する。大石も滑る一歩(石)街道と呼ばれるようになったという。何かすごい歴史がこの道に隠されているかと思いましたが、意外にも庶民の感覚のネーミングでした。

また、地図で眺めてみると曲がりくねった狭い道の両側にびっしり今野野の家並みが峠まで続く生活道路。古い時代から住み継がれてきた生活道路に違いない。 三条通日圓神地 五条通東山越の道が、幅の広い車道がある幹線道路に対して、びっけりの東山越。昔も今もずっと 車に邪魔されずに歩ける庶民の道「滑石街道」なんだと歩きの発見。観光客の雑踏もなし。車にも邪魔されず、山から眺める景色も格別。 東都にうれい古道の散歩道 発見なるか………と。 帰りは 山科西野山 大石神社の横から 稲荷山に登って 伏見稲荷大社へ参拝して帰ることに

【1】京都市街と山科を結ぶ東山滑石越 滑石街道を歩く 2016.9.13.



2016.9.13 朝 京都東山七条 朝今にも雨が降り出しそう。博物館の向こうに見える東山にも雲がかかっている。予報は小雨が降ったりのようだ。東山を越えてゆく府道滑石街道は、雨に降られても大丈夫。梧桐山山中で雨にやられるといやですが、その時は、北五条道の渋谷街道を挟んでこよう。今熊野に向けて、東山道を南へ



スタートは東山七条智積院前 東山通りを南へ 今熊野に向かう 2016.9.13. 10:25



今熊野橋より、東山をトンネルで抜けてゆくJR東海道線(左)・新幹線(右) 2016.9.13.
滑石街道は正面に見える東山の右手を越えてゆく



歩きだしてすぐ JR東海道線が潜り抜ける橋がみえ、その向こうに信号がある今熊野の交差点が見えてくる
東山通:東山トンネルを出てきたJR&新幹線が潜り抜ける今熊野橋&今熊野の交差点周辺 2016.9.13.



今熊野橋より、西の京都駅側を眺める 右手奥に京都タワーが見えている 2016.9.13.



今熊野橋のすぐ南 今熊野交差点を右に入る道が滑石街道の入口 2016.9.13.
滑石街道：京都今熊野から東山を越えて山科 西野山大石道を結ぶ 京都府道118号 観修寺今熊野線



京都府道118号 観修寺今熊野線
滑石街道の入口 2016.9.13. 10:35



京都府道118号 観修寺今熊野線 滑石街道の入口 2016.9.13. 10:35
どう見ても普通の生活道路 まっすぐ東へ 家並みの間の狭い道が東山に登ってゆく



滑石街道今熊野 南日吉町周辺 JR東山トンネルのすぐ南側を並行して 坂道を東山に登ってゆく



滑石街道 今熊野南日吉町周辺 車がやっと通合できる狭い坂道が東山へと登ってゆく 2016.9.13. 10:45
幹線道路の車道というより、どう見ても生活道路である



滑石街道 今熊野 南日吉町の上り周辺 2016.9.13. 10:45
道路情報の電光掲示板が出てきて やっぱ幹線道路なんだと
いよいよ稜線が近づき 京都御一帯の眺望の最上段 随分登ってきました



滑石街道 今熊野南日吉町周辺 東山の稜線が随分近くなってきた 2016.9.13. 10:45



滑石街道と日吉南道との十字路に京都一周トレイル東山10の案内標識 2016.9.13. 10:47



京都一周トレイルとのクロスを過ぎると一機に視界が開け、
今熊野の最上部にある延仁寺の大屋根が見え、その後に滑石越の山間が見える



視界の開けた滑石街道右手谷筋 京都の市街地が遠望 今熊野日吉町最上段より 2016.9.13. 10:50



左:滑石街道 東山滑石越へ 右:谷泊いを東山通へ戻る道との分岐 2016.9.13. 10:50



滑石街道 今熊野日吉町最上段 延仁寺駐車場横 ここから先は幹道 東山稜線の乗越 2016.9.13. 10:51



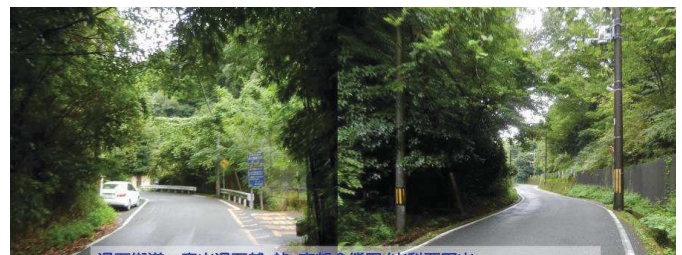
滑石街道 東山稜線の乗越への峠道 2016.9.13. 10:54



10:55 滑石街道 東山稜線 滑石越 峠へ 2016.9.13.



滑石街道 東山稜線乗越への峠道 2016.9.13. 10:54



滑石街道 東山滑石越 峠<京都今熊野/山科西野山> 2016.9.13. 11:03



滑石街道 東山滑石越 峠 山科西野山側は急な下り道 2016.9.13. 11:03

京都市内からは壁のように立ち上る東山が 特に暑い盛りでもなく ほんの30分足らずで越えられる
本当に意外で びっくりです。
やっぱり 大石内蔵助が山科から伏見・祇園へ通った最短で安全だった道なんだろうと……



滑石街道 山科西野山 ヘアピンカーブ 2016.9.13. 11:08

カーブの右手 藪の中に「西野山古墓」の石標が建っていました



滑石街道 東山滑石越 峠 山科西野山側は急な下り道 2016.9.13. 11:07

つづら折れの坂道の次にはヘアピンの標識が見える。
このヘアピンの頂点部が今回ぜひ訪ねたかった坂之上田村墓の墓といわれる西野山古墓のあるところである。

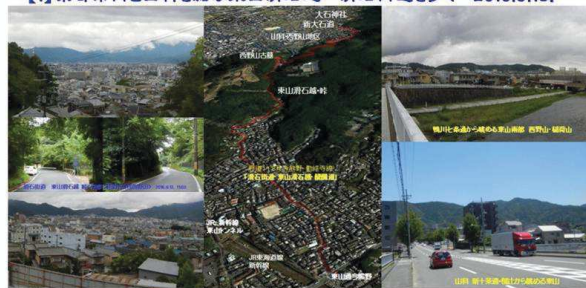


ヘアピンカーブのところ 坂之上田村墓の墓といわれる「西野山古墓」 2016.9.13. 11:08





【1】京都市街と山科を結ぶ東山滑石越 滑石街道を歩く 2016.9.13.



最近 山科西野山界路を歩いていて拾ったJR東山トンネルの上を越えて京都と山科を結ぶ東山滑石越の滑石街道(南道116号今熊野動物園修路)。かつては京都と山科を結ぶ街道として、京都ではよく知られた道で、東山を越えて山科に入る西野山地区は古い時代 中臣氏(源氏)の本拠地であり、坂之上田村建の墓もある。また、忠臣蔵大石内蔵助が居住し、忠臣蔵の計画をめぐらしたところでもある。
また、この東山滑石越は稲荷山として稲荷への道でもある。古い歴史とあって、「滑石街道」の名前にはさぞゆかりがあるのだろうと。「滑石街道」の名は「滑石」の地名を連ねる大石内蔵助が、政変を経て、毎夜夜 東山の山道を越えて 祇園・伏見へ通った際に、降り付いた二道で足をはたして転んだこともあったと推定するといふ大石内蔵助も「滑石街道」と呼ばれるようになったという。何かすごい歴史がこの道に隠れているかと思いましたが、意外にも歴史の感覚のネーミングでした。
また、曲がりくねった狭い道の両側にびっしり今熊野の家々が続き、緑の生活道路。古い時代から住み継がれてきた生活道路。三条通今熊野越 三条通東山越の道が、稲荷の古い街道を今熊野街道に引き、びっしり東山越。それも 東山通今熊野から東山を登るといふより、ぶらぶら歩きで約30分で峠に 来た。約30分と山科の街へ。約1時間 急げばもっと短い時間で 京都と山科の壁「東山」を越えらるなど本当にびっくり。
昔も今もずっと 峠に登降されるに歩ける産民の道「滑石街道」なんだ。
観光客の難路もなし 車にも邪魔されず 山から見る景色も取り込み。京都にうれしい古道の散歩道 発見です。

2016.9.13. 山科 滑石・新大石道で たどってきた滑石街道の道を眺めながら Mutsu Nakanishi

